

千葉県におけるカミツキガメ防除実施計画書

平成19年6月策定
(平成21年3月改定)
(平成23年3月改定)

千 葉 県

特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律（平成16年法律第78号）第11条第2項の規定により、ケリュドラ・セルペンティナ（カミツキガメ）（以下、単に「カミツキガメ」という。）による千葉県の生態系並びに人の生命及び身体に係る被害の発生を防止するため、次のとおり防除を実施する。

1 実施主体

千葉県

2 防除の対象

カミツキガメ

3 防除を行う区域

千葉県全域

4 防除を行う期間

平成19年6月19日 ～ 平成33年3月31日

5 現状とこれまでの取り組み

（1）生息状況

カミツキガメは、最大甲長 50 cmまで成長する淡水性のカメ類で、日本に定着しているのは、ホクベイカミツキガメ（*Chelydra serpentina*）と言われている。

千葉県では、1978年に佐倉市高崎川での発見が最初とされている。その後、1990年代後半から相次いで記録され、幼体の発見により自然繁殖が示唆された。

平成16・17年に実施された生息調査から、大型個体の推定生息数は1,000個体とされ、そのまま放置することで、生態系および人の生命および身体への被害を及ぼすおそれがあるとして、平成19（2007）年から防除事業が開始された。

また、平成18（2006）年から、市町村や警察による緊急収容個体についての情報収集を行い、分布の状況把握に努めてきた。

これらの情報から以下のことが推定されている。

○生息範囲：印旛沼流域のうち、鹿島川水系（鹿島川、高崎川、南部川等）、西印旛沼および新川、北印旛沼および中央排水路。

○生息状況：鹿島川、高崎川、南部川での収容個体数が多いことから、生息個体数が多いと推測される。

(2) これまでの取り組み

平成 17 (2005) 年に、カミツキガメが外来生物法により特定外来生物に指定された後、千葉県では、平成 18 (2006) 年から緊急収容個体についての情報収集を行い、平成 19 (2007) 年からは防除実施計画を策定し、防除事業を実施してきた。その結果、平成 22 年度末までに、千葉県防除事業により 812 個体、緊急収容個体をあわせると合計 1,237 個体を捕獲・収容した (表 1)。

表 1 これまでに捕獲・収容されたカミツキガメ個体数

県：県による印旛沼水系カミツキガメ防除事業、市町村等：市町村、警察による緊急収容

	印旛沼水系			それ以外			計		
	県	市町村等	計	県	市町村等	計	県	市町村等	計
平成18年度	—	35	35	—	12	12	—	47	47
平成19年度	247	66	313	—	9	9	247	75	322
平成20年度	157	86	243	—	9	9	157	95	252
平成21年度	216	74	290	—	6	6	216	80	296
平成22年度	192	123	315	—	5	5	192	128	320

千葉県防除事業では、防除の中心となっている鹿島川水系の高崎川・南部川における捕獲サイズは小型化の傾向があり、一定の捕獲圧の継続による生息密度の低減化が期待できる。一方、これまで捕獲が行われてこなかった捕獲開始初期の間では大型個体の割合が高いことから、分布域の縁辺部における捕獲の実施により分布拡大の阻止が必要であることが示唆されている。

6 防除の目標

千葉県では、印旛沼水系を中心として定着、繁殖をしているカミツキガメ個体群の存在が確認されており、放置した場合、今後も個体数が増加すると予測される状況にあり、また、その他の地域においても遺棄されたと考えられる個体の収容事例が頻発している。

このため、本県における防除の最終的な目標を、カミツキガメの県全域からの排除とするが、当面の目標としては、本種の定着・繁殖が確認されている印旛沼周辺の鹿島川水系を中心とする地域 (以下、「定着区域」という。) からの排除、および本種の定着・繁殖が明らかになっていない定着区域を除く県の全域 (以下、「未定着区域」という。) における定着・繁殖の阻止を図ることとする。

(1) 生態系等に係る被害の防止

定着区域においては、カミツキガメによる在来生物の捕食、在来のカメ類をはじめとする在来生物との競合による地域の生態系等に係る被害を排除する必要がある。また、未定着区域においては、定着・繁殖を未然に防止する必要があることから、完全排除のために分布域の拡大を阻止し、個体数を大幅に減少させることを目標とする。

(2) 人の生命及び身体に係る被害の防止

カミツキガメによる人の身体に被害を及ぼすおそれを排除する必要があることから、定着区域における計画的な捕獲を継続するとともに、未定着区域で個体が緊急的に捕獲された場合は、適正に処分することを目標とする。

7 防除の方法

(1) 調査・モニタリング

平成 16・17 年度に印旛沼水系を対象としてカミツキガメの生息調査を実施し、推定生息数（大型個体）は約 1,000 個体との結果を得ている。また、定着区域では、効果的な防除事業の検討を目的とする環境省の「特定外来生物防除推進調査（カミツキガメ）」（以下、「環境省モデル事業」という。）が実施されてきた。

これらの調査結果に加え、これまでの千葉県防除事業の結果から得られる生物学的情報の収集・整理を行うとともに、市町村等からの收容情報を把握し、本種の分布状況や被害状況を適切にモニタリングすることによる効果的な防除が実施できるよう努める。

(2) 捕獲

定着区域において、ワナによる捕獲により防除を実施する。

ワナの構造は、環境省モデル事業等で実績のある、「もんどりワナ」に混獲による在来カメの窒息死を防止する改良を加えたものを基本とする。

調査等により得られた当該区域における生息分布状況をもとに、本種の分布状況及び生息密度、在来種の分布状況などから判断される対策の必要性、捕獲時期に対応した捕獲効率等を考慮した上で、ワナを計画的に配置して実施する。

(3) 緊急的な防除等

県内の野外において、市民等からのカミツキガメの目撃・捕獲情報があった場合には、市町村等が危険防止等のために緊急的に捕獲することがある。これらの緊急防除等の情報のうち、特に未定着区域における生息情報は、本種の新たな定

着を未然に防ぐための重要なものになる。また、定着区域における生息情報についても、今後の防除の実施に反映するための基礎資料を得られることから、これらの緊急防除等による情報については、市町村等と連携し情報共有に努める。

(4) 捕獲個体の処分

捕獲した個体の処分は、できる限り苦痛を与えない適切な方法とし、冷凍による処理を基本とする。なお、処分個体は、研究用試料として活用するなど捕獲した個体から得られる情報を十分に活用することにより、効果的な防除に反映させるよう努める。

(5) 在来生物の捕獲等を避けるための措置

捕獲等に用いる道具の選定、開発にあたっては、在来生物が捕獲されるおそれ小さいこと、捕獲された場合に生存が可能であることを条件とするとともに、ワナ等の捕獲用具の設置状況については定期的に巡視を行い、在来生物の保護に努める。

8 関係法令の遵守等

防除の実施にあたっては、内水面漁業調整規則に基づく特別採捕に係る許可を得て実施するものとする。

また、上記以外に必要な場合には他法令に基づき必要となる手続を行うなど、関係法令を遵守し、捕獲は当該許可等の条件の範囲内で実施するものとする。

捕獲に際しては、外来生物法に基づく防除を実施していることを証する書類及び他法令の許可等を得ていることを証する書類を携帯する。

防除に使用する用具には、用具ごとに、法に基づく防除のための捕獲である旨及び実施者の住所、氏名、電話番号等の連絡先を記載した標識を装着する。

9 調査研究

効果的な防除手法の検討、生息状況の把握、生態的な特性の解明などにあたっての各種の分析などについて、大学、試験研究機関等の協力を経て調査研究を進めることとする。

10 普及啓発

防除についての地域住民等の理解と協力を得るために、カミツキガメに関する知見及び防除の概要について、ホームページ等を利用し、普及啓発を行うよう努める。

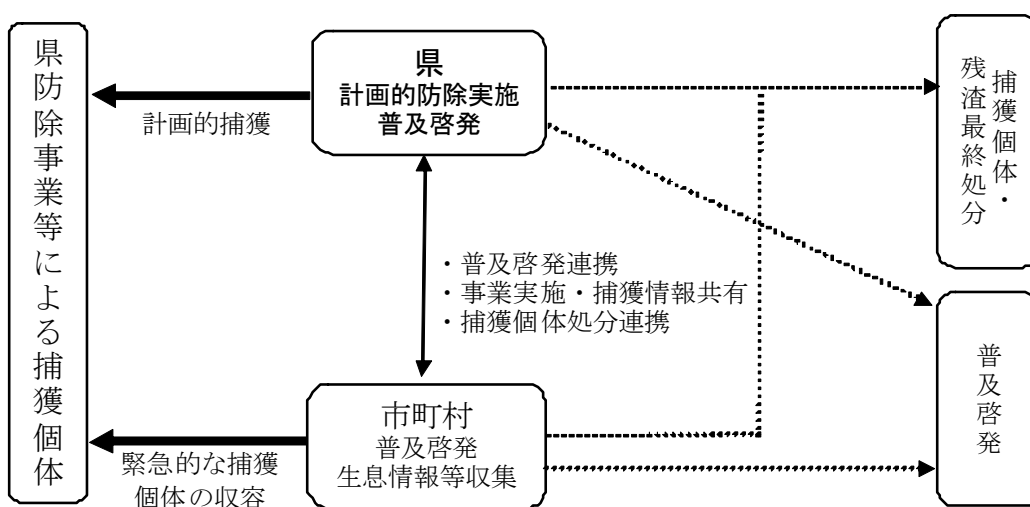
11 その他参考事項

(1) 防除計画の実施体制

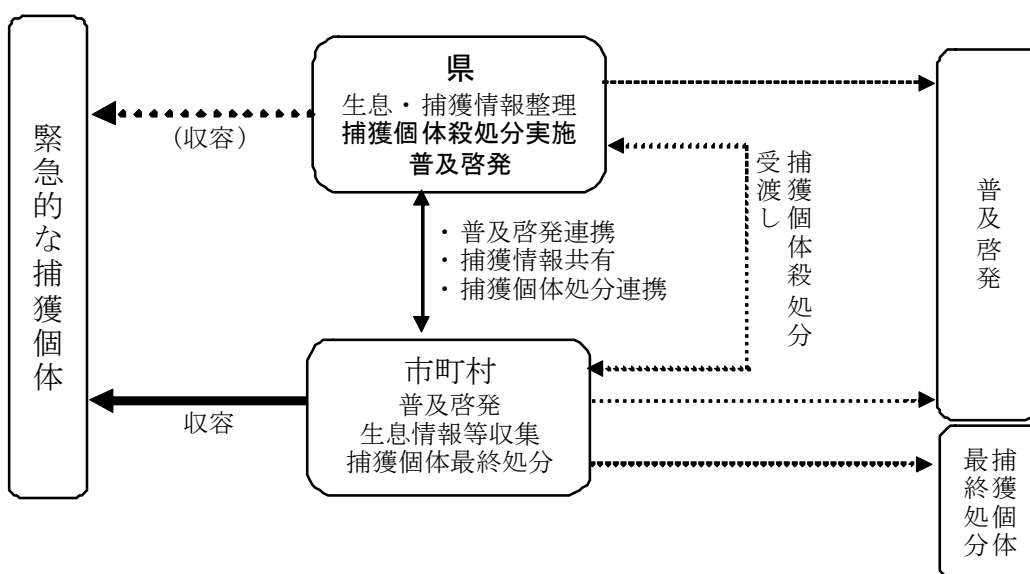
計画の実施にあたっては、県、市町村、関係漁業者団体、研究機関等が連携して進めていく。

現在、定着している印旛沼水系においては、生息情報などについて関係者間での情報共有に努めるとともに、防除について常に検証し、必要に応じて計画を見直すこととする。

ア. 定着区域における実施体制



イ. 未定着区域における実施体制



(2) 様式

ア. 従事者証

<p style="text-align: center;">千葉県特定外来生物（カミツキガメ）防除実施計画に基づく 従事者証</p> <p style="text-align: center;">千葉県知事</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr><td style="width: 10%;">住 所</td><td style="width: 90%;"></td></tr> <tr><td>氏 名 (法人の名称)</td><td></td></tr> <tr><td>生 年 月 日 (代表者の氏名)</td><td></td></tr> <tr><td>捕 獲 等 を実施する期間</td><td></td></tr> <tr><td>目 的</td><td></td></tr> <tr><td>区 域</td><td></td></tr> <tr><td>方 法</td><td>ワナによる捕獲</td></tr> <tr><td>捕獲等又は採取 等の後の処置</td><td>殺処分</td></tr> <tr><td>条 件</td><td></td></tr> </table>	住 所		氏 名 (法人の名称)		生 年 月 日 (代表者の氏名)		捕 獲 等 を実施する期間		目 的		区 域		方 法	ワナによる捕獲	捕獲等又は採取 等の後の処置	殺処分	条 件		<p style="text-align: center;">注意事項</p> <p>1. この従事者証は、捕獲等に際して必ず携帯しなければならない、かつ、他人に使用させてはならない。</p> <p>2. この従事者証は、その効力を失った日から30日以内に、知事に返納し、かつ、捕獲等についての報告をしなければならない。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 20px;"> <thead> <tr> <th colspan="4" style="text-align: center;">報告欄</th> </tr> <tr> <th style="width: 25%;">捕獲等した場所</th> <th style="width: 25%;">捕獲等した数量</th> <th style="width: 25%;">処置の概要</th> <th style="width: 25%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>	報告欄				捕獲等した場所	捕獲等した数量	処置の概要	備考																								
住 所																																																			
氏 名 (法人の名称)																																																			
生 年 月 日 (代表者の氏名)																																																			
捕 獲 等 を実施する期間																																																			
目 的																																																			
区 域																																																			
方 法	ワナによる捕獲																																																		
捕獲等又は採取 等の後の処置	殺処分																																																		
条 件																																																			
報告欄																																																			
捕獲等した場所	捕獲等した数量	処置の概要	備考																																																

イ. 従事者台帳

千葉県特定外来生物（カミツキガメ）防除実施計画に基づく捕獲従事者台帳

No	従事者						備考
	住所	氏名	印	生年月日	職業	電話番号	

ウ. 捕獲記録用紙 (標準様式)

①千葉県防除事業に係る捕獲記録用紙

カミツキガメ捕獲記録(千葉県防除事業)用紙

		記入年月日	
捕獲者氏名		記録者氏名	
所属		所属	
連絡先		連絡先	
捕獲日時		捕獲場所	
捕獲場所の状況		捕獲場所位置図	
捕獲の経緯・捕獲時の状況			

生物学的記録項目			
種名			
性別	♂・♀	背甲長	mm
年齢	幼体・成熟個体	体重	g
再捕の場合、ナンバー等の有無			

②緊急的な捕獲に係る収容記録用紙

カミツキガメ収容記録用紙

拾得者氏名*		担当者氏名*	
記入年月日*		所属*	
発見者氏名		連絡先*	
発見者連絡先		外来生物法上の取り扱い(該当に○印をつけてください)* 1. 千葉県が実施する防除事業 2. (市町村)が行う防除事業 3. 警察の職務に伴う収容	
捕獲・収容年月日*			
発見場所*			
発見場所の状況*	発見位置図の概要*		
収容の経緯・収容時の状況 できるだけ詳しく記入してください。			

※太枠内に記入してください。

※ * マークのあるところは必ず記入してください。

生物学的記録項目			
種名		背甲長	mm
性別	♂・♀	体重	g
年令	幼体・成熟個体		
再捕の場合、ナンバー等の有無			

千葉県におけるカミツキガメ防除実施計画区域図

防除を行う区域	千葉県全域
定着区域	印旛沼水系

